



平成22年9月6日

各位

上場会社名 ジャパンパイル株式会社
 代表者 代表取締役社長 黒瀬 晃
 (コード番号 5288)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 藤原 敬三
 (TEL 03-5843-4192)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,000	140	280	140	5.37
今回発表予想(B)	23,000	350	220	1,860	71.31
増減額(B-A)	1,000	490	500	2,000	
増減率(%)	4.2				
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	24,175	100	247	110	4.24

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	300	600	300	11.50
今回発表予想(B)	45,000	250	50	2,100	80.51
増減額(B-A)	5,000	550	550	2,400	
増減率(%)	10.0		91.7		
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	43,834	324	39	498	19.09

修正の理由

当社の主力商品であるコンクリートパイルの需要がリーマンショック以降の急激な落ち込みからなかなか回復せず、当会計年度中の回復が難しい状況となってきました。この結果、需要の大幅な減退の下、少ない需要を巡っての競争が一段と激化し、価格水準も低位で推移する状況が続いております。当社といたしましては、この厳しい中、売上高の増加、コスト削減の徹底等、業況の改善に全力を尽くしてはおりますが、今般、売上高、利益ともに当初予想を引き下げざるを得ない状況となりました。

また、連結子会社でありますジャパンパイル製造株式会社等において実施いたします、最適生産体制構築等により発生します特別損失(詳細につきましては、本日公表しました「最適生産体制への取組みに関するお知らせ」をご参照ください。)を織り込んだ結果、営業利益、経常利益、当期純利益とも当初予想を下回る見込みであります。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上